

「平成24年度 医療事故・紛争対応 人材養成講座」

東京：2012年5月12～13日、6月9～10日、7月14～15日

福岡：2012年9月1～2日、10月6～7日、11月3～4日



I 東京開催

1. 開催日時：2012年5月12～13日、6月9～10日、7月14～15日

2. 開催場所：N T T 東日本関東病院（東京都品川区）

3. 講師陣（講義開催順）：前田 正一（慶応義塾大学大学院）
藤盛 啓成（東北大学病院）
嶋崎 明美（独立行政法人国立病院機構 姫路医療センター）
栗原 博之（N T T 東日本関東病院）
富永 理子（医療法人社団安田病院）
川口 雅裕（社会医療法人蘇西厚生会松波総合病院）
南須原 康行（北海道大学病院）
児玉 聡（東京大学大学院）
江原 一雅（滋慶医療科学大学院大学/神戸大学大学院
医学研究科）
上白木 悦子（高知県立大学社会福祉学部）
池田 典昭（九州大学大学院）
前村 聡（日本経済新聞社）
丸山 英二（神戸大学大学院）
藤田 みさお（東京大学大学院）
永井 裕之

4. 参加人数：70名



II 福岡開催

1. 開催日時： 2012年9月1～2日、10月6～7日、11月3～4日
2. 開催場所：九州大学病院地区キャンパス内（福岡県福岡市）
3. 講師陣（講義開催順）：
前田 正一（慶応義塾大学大学院）
江原 一雅（滋慶医療科学大学院大学/神戸大学大学院
医学研究科）
嶋崎 明美（独立行政法人国立病院機構 姫路医療センター）
富永 理子（医療法人社団安田病院）
田中 信一郎（独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター）
榎 実穂（独立行政法人国立病院機構 呉医療センター
中国がんセンター）
入田 和男（日本赤十字社九州ブロック血液センター）
児玉 聡（京都大学大学院）
上白木 悦子（高知県立大学社会福祉学部）
池田 典昭（九州大学大学院）
栗原 博之（NTT東日本関東病院）
丸山 英二（神戸大学大学院）
日下 隼人（武蔵野赤十字病院）
稲垣 克巳

4. 参加人数：70名

平成24年度 医療事故・紛争対応人材養成講座(6日間42時間コース) 時間割							
	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	6時限	7時限
	9:30～10:30	10:30～11:30	11:30～12:30	13:10～14:10	14:10～15:10	15:10～16:10	16:10～17:10
第1回	医療安全管理総論			医療安全管理体制および医療安全教育			
(5/12)	日本における医療安全管理体制の歴史・国内での安全管理体制	医療事故対応/医療事故の法的責任	アイスブレイクディスカッション	医療安全管理体制とその整備	医療安全教育の手法	医療安全と診療記録	模擬カルテ開示
(9/1)	前田正一			藤盛啓成/江原一雅	藤盛啓成/江原一雅	南崎明美	
第2回	医療安全活動の基本(有害事象の原因分析・再発防止策の検討)						
(5/13)	原因分析総論 -各種分析手法とその利点・欠点-	原因分析-理論(1)	原因分析-理論(2)	原因分析-実習(1)	原因分析-実習(2)	原因分析 -受講者による発表-	原因分析-講師-
(9/2)	藤盛啓成/江原一雅		栗原博之・富永理子・川口雅彬/富永理子・田中信一郎・榎美穂				
第3回	医療事故初期対応						
(6/9)	現場保存-その意義・方法	院内検証(一次検証)-その意義・方法	診療関連死の警察届出(1) -医師法21条の解釈-	診療関連死の警察届出(2) -具体事例における警察届出の判断-	患者への情報開示と謝罪(理論)	社会への情報開示 -記者会見の意義・方法	記者会見 その意義とポジションペーパーの作成
(10/6)	南須原康行/入田和男		前田正一		児玉聡/前田正一	江原一雅/入田和男	
第4回	医療事故初期対応						
(6/10)	遺族への謝罪の提案に関する 医療従事者の意識と実際の行動	死因究明における謝罪 -その意義・実際-	医療事故事案と 死亡診断書・死体検案書	記者会見-実習(1)	記者会見-実習(2)	記者会見-実習(3)	記者の立場からみた 社会への情報開示・実習の講師
(10/7)	上白木悦子	池田典順		前村聡(記者)、江原一雅/入田和男			
第5回	医療事故と倫理・法						
(7/14)	医療事故の諸機関への届出	インフォームド・コンセント(1) 総論および説明要件	インフォームド・コンセント(2) 同意能力・理解・同意の要件	インフォームド・コンセント(3) 説明・同意文書とその作成方式	医療事故の法的責任・総論	過失の判断(注意義務の基準)	医療事故と診療情報の開示
(11/3)	栗原博之	前田正一			丸山英二		
第6回	コミュニケーション			被害者の声を聴く		まとめ	
(7/15)	被害者とのコミュニケーション/ 事故に関係した医療従事者への対応	コミュニケーションの理論	コミュニケーションの技法	被害者として医療界に求めること		質疑応答	
(11/4)	富永理子	藤田みさお/日下隼人		永井裕之/稻垣克己		前田正一	

* 講義の中では、時間割に記載がなくても、演習・グループ・ディスカッションが行われる場合があります。そこでは、理論と実践を架橋する解説がなされます。

* 時間割中、講師の名前が併記されている箇所については、前者が東京会場の担当者を、後者が九州会場の担当者を示しています。